調査研究

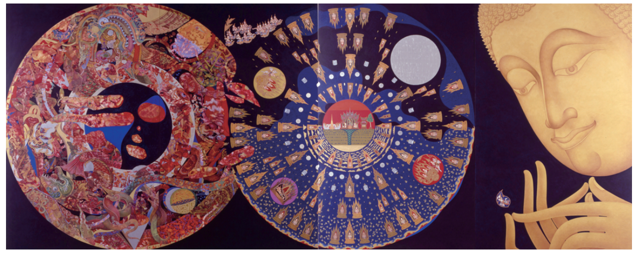
アジア各国での近現代美術に関する研究を、現地調査や文献資料などを用いて継続的におこない、その成果を展覧会や講演会などの形で発表します。

美術交流

アジアから美術作家や研究者を招へいし、福岡での滞在を通して地域の人々と作品制作やワークショップ、パフォーマンス、講演会など様々な美術交流をおこないます。

作品収集

19世紀頃から現代までを中心に、パキスタン以東、モンゴル以南、インドネシアの以北以西の23の国と地域の美術作品を対象としています。2018年現在、約2900点を所蔵。



パンヤー・ウィチンタナサーン［タイ］《魂の旅》2001年

創造・発信する交流の場

福岡アジア美術館は、アジアの美術作家や研究者を招へいし、滞在制作やアジア美術の研究などを通して、人々がアジアの美術・文化に親しむ場として機能しています。福岡・日本とアジアが、また市民と美術にたずさわる人々が、たんに出会うだけではなく、互いに理解し、共に創造し発信していくことを目指す交流型の美術館です。

「まち」の中のライブな美術館

福岡アジア美術館は、福岡・博多の「まち」のエネルギーがうずまく都心にあります。「まち」に生きる人々が、アジア美術を通してアジアの「いま」へ最短距離でアクセスできる都市型の美術館です。また、アジアの美術作家たちも、福博の「まち」に取材した作品制作を通して、いまここに生きる人々と交流しています。

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
Tel: 092-263-1100　Fax: 092-263-1105
Web: faam.city.fukuoka.lg.jp

利用案内

開館時間：10:00-20:00（ギャラリーへの入場は19:30まで）

休館日：毎週水曜日（水曜が休日の場合はその翌平日）
年末・年始（12月26日～1月1日）

入館料：無料

コレクション展示（アジアギャラリー）観覧料
一般：200円（150円）／高校・大学生：150円（100円）／中学生以下：無料
＊特別展観覧料は別に定めます。（　）内は20人以上の団体料金。
＊各種減免については、当館ウェブサイトをご覧ください。

公共交通案内

市営地下鉄 利用の場合
［中洲川端駅］下車、6番出口より徒歩すぐ

西鉄バス 利用の場合
［川端町・博多座前］下車、徒歩すぐ

福岡アジア美術館
ご案内

ブー・ホァ（卜樺）［中国］《最良のものはすでにある》（部分）2018年

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

福岡アジア美術館の活動

展示

所蔵品展

欧米とも異なる独自性と優れた芸術性を持つアジアの近現代美術作品を系統的に紹介。テーマごとに年間6回程度の展示替えをします。

企画展

「近代美術」、「現代アジアの作家」、「生活とアート」、「アート横断」という4つのシリーズの企画展を開催。様々な時代・地域・ジャンルのアジア美術の魅力を紹介します。

特別企画展

アジアの近現代美術を中心に、アジアと関連のある幅広い分野の特別企画展を開催します。

教育普及

幅広い層の市民が参加できるワークショップや講演会、ボランティア・スタッフによる展示作品の解説などを通して、アジアの美術や文化への理解を深める機会を設けます。

リュウ・カン（劉抗）［シンガポール］《スリッパ》1930年

基本理念

アジアとの交流拠点、福岡

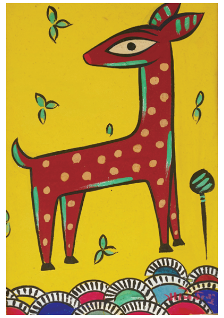
福岡市は、古代からアジア文化受容の窓口であったという地理的、歴史的な特質をふまえて、長年にわたり、アジアの交流拠点としての役割を果たしてきました。福岡アジア美術館は、美術分野での交流を目指して1999年に誕生し、独自の活動によって、日本をはじめ、アジア、世界からの注目を集めています。

世界に唯一、アジアの近現代美術の専門館

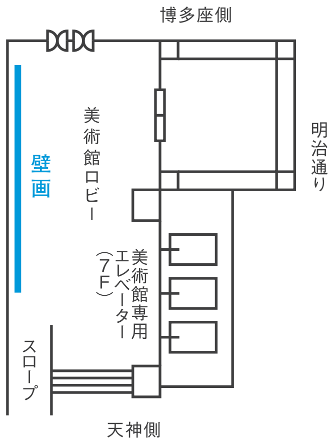
福岡アジア美術館は、アジアの近現代の美術作品を系統的に収集し展示する世界で唯一の美術館です。それらの作品は、変化しつづけるアジアの「いま」を生きる美術作家が切実なメッセージをこめて作り出したもので、西洋美術の模倣や伝統の繰り返しでもない、既製の「美術」の枠を越えていくものです。

1F

ブー・ホァ／卜樺（中国）による
高さ４m、幅11mの壁画



ジャミニ・ロイ［インド］《子鹿》1940年頃



イ・デワ・プトゥ・モコ［インドネシア］《ワニと友だち》1992年

イー・ブル（李昢）［韓国］《さなぎ》2000年

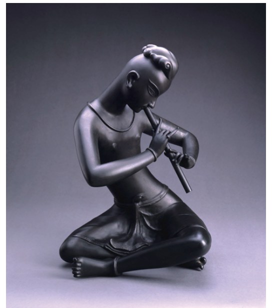
7F

企画ギャラリー

アジア近現代美術を中心に、幅広いテーマの特別企画展を開催します。

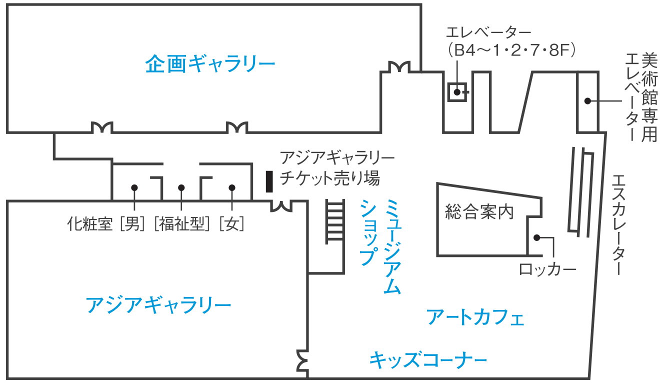
ミュージアムショップ

福岡アジア美術館のオリジナルグッズや魅力的な雑貨、当館発行の展覧会図録ほか、アジア美術関連書籍を揃えています。



キエン・イムスィリ［タイ］《音楽のリズム》1949年
（撮影：四宮佑次）

キッズコーナー



アジアギャラリー

質・量ともに世界最高水準を誇る所蔵品によって、アジアの近現代美術の流れを系統的に紹介します。

アートカフェ

アートとカフェと本が同時に楽しめるオープンスペース。美術館が所蔵するアジアやアートに関する本、雑誌、約１万冊を無料で閲覧することができます。カフェでは、コーヒー、お茶などのドリンク類、スイーツや軽食を提供いたします。

8F

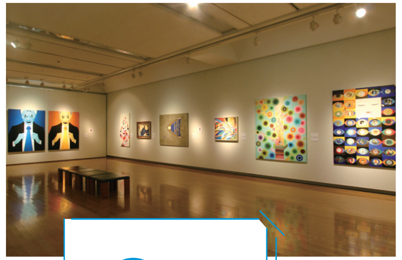
授乳室

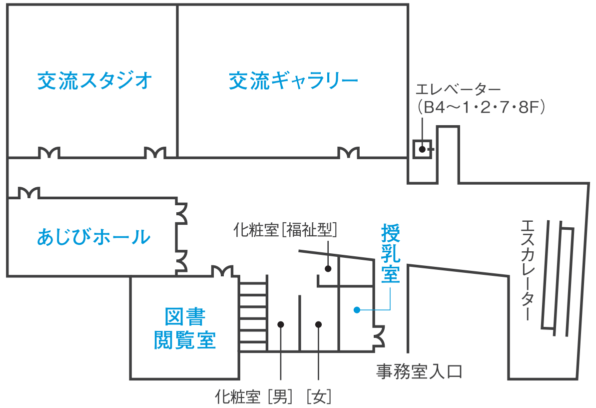
交流スタジオ

アジアの美術作家が作品を制作したり、ワークショップを開催します。

交流ギャラリー

アジアの美術作家が福岡で滞在制作した作品を発表したり、市民による作品を展示します。





ツェレンナドミディン・ツェグミド［モンゴル］
《オルホン河》1993年

ルオン・シュアン・ニー［ベトナム］
《読書する若い娘》1940年

あじびホール

講演会、コンサート、映画会、演劇など、多彩なイベントを開催します。

＊「あじび」は福岡アジア美術館の愛称です。

図書閲覧室

アジアの近現代美術に関する世界有数の蔵書（図録、書籍、雑誌など）を持つ閉架式、閲覧のみの図書室です。

★撮影：山中慎太郎（Qsyum!）